

数学科（2年）学習案内

1. 使用教科書・教材 未来へ広がる数学2（啓林館）
よくわかる数学の学習2（明治図書）

2. 学習の目標

- ① 文字を用いた式について、目的に応じて計算したり変形したりする能力を養うとともに、連立二元一次方程式について理解し用いる能力を養う。
- ② 基本的な平面図形の性質について、観察、操作や実験などの活動を通して理解を深めるとともに、図形の性質の考察における数学的な推論の必要性和意味及びその方法を理解し、論理的に考察し表現する能力を養う。
- ③ 具体的な事象を調べることを通して、一次関数について理解するとともに、関数関係を見いだし表現し考察する能力を養う。
- ④ 不確定な事象を調べることを通して、確率について理解し用いる能力を培う。

3. 評価の観点・方法

	評価の観点	方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・数量や図形などに関する知識を身につけている。 ・数学を用いることの必要性や有用性について理解している。 ・計算や操作、等式の変形を目的に応じて正確に行うことができる。 ・資料や図形などから、関係や法則を判断することができる。 ・法則や関係について、式やグラフ数直線などを用いて表現することができる。 など 	授業での考察の様子と発表、単元末テスト、定期テスト、小テスト
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・学習した内容を活用して具体的な場面を解決することができる。 ・数学的な表現を用いて、自分なりに説明することができる。 ・見いだした性質などを基に数学的に考察することができる。 など 	授業での考察の様子、単元末テスト、自己評価カード、定期テスト、小テスト
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・学んだことの意味を粘り強く考えようとしている。また、学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。 など 	授業の様子、挙手、発表、ノート、ワーク、自己評価カード
<p>(1) 上の観点について、それぞれA～Cの3段階で評価する。</p> <p>(2) 学習のまとめごとにA～Cの観点別評価を総合して、1～5の5段階で評定する。</p>		

5. 学習計画

	単元	学習のねらい・評価	学習内容・活動
前期	式と計算	文字式について、式の意味を読み取ったり、四則計算したりすることができる。	文字式の加法・減法、単項式の乗法・除法、文字式の利用 ・文字式の計算、式の操作、変形 ・具体的な場面を文字式に表す
	連立方程式	連立二元一次方程式を解くことができ、その必要性を理解することができる。	連立方程式とその解、連立方程式の解き方、連立方程式の利用 ・連立方程式の計算 ・連立方程式の解の意味を理解する ・具体的な場面を、連立方程式を用いて解決する
	一次関数	二つの数量の関係を見いだし、表、式、グラフと関連付けて理解することができる。	一次関数、一次関数の値の変化、一次関数の式とグラフ、連立方程式とグラフ、一次関数の利用 ・一次関数の意味を理解する ・一次関数を式、表、グラフで表し、関連付ける ・具体的な場面を、一次関数を利用して解決する
後期	図形の調べ方	操作や観察を通して、基本的な平面図形の性質を理解することができる。	平行線と角、多角形と角、三角形の合同、証明とそのしくみ ・図形の性質や三角形の合同条件を見い出す ・見いだした条件や性質を基に新たな性質を見い出す
	図形の性質と証明	図形の合同について理解し、図形の性質を三角形の合同条件などを基に論理的に考察し表現することができる。	二等辺三角形、直角三角形の合同、平行四辺形の性質と条件 長方形・ひし形・正方形、平行線と面積 ・図形の観察・操作 ・三角形の合同条件などを基に図形の性質を証明する ・図形の包摂関係を理解する
	確率	確率の必要性和意味を理解し、簡単な場合について確率を求めることができる。	確率の意味、場合の数、確率の求め方 ・不確定な事象について観察、実験を通して確率の意味を考える ・様々な場面での確率を求める ・箱ひげ図を用いてデータの散らばりを考察できる

